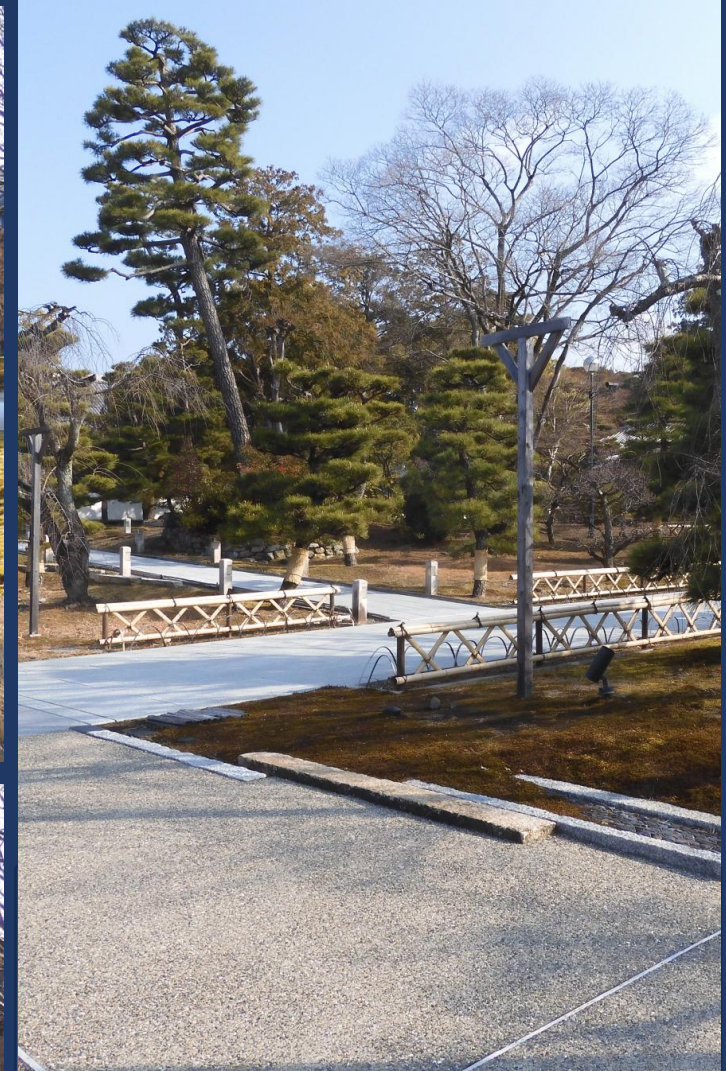


第25回 京都の素敵な宿泊旅<2>

2026 2/11~12





智積院を去る
宿泊も、拝観した庭も
絵画も素晴しかった。
まさに
「京」の体験だった。

京の大仏

松永久秀により

奈良東大寺の大仏が焼失したので

秀吉は京都に大仏を作ることにした。

特に「寺号」などではなく

単に「大仏」であった。

大仏殿は、全国の大名からの

大木の寄進による壮大な木造建築、

大仏も日本一大きな仏像で、

造営の目的は、東大寺とは違い

宗教的な観点からではなく

秀吉の権威誇示であった。

左の地図に、推定の大仏殿を描いたが

それとは別に、南大門の位置により

寺域の広さがわかるであろう。



大仏殿跡緑地

かつてこの地には、豊臣秀吉が奈良東大寺にならって創建し、その後秀頼が再建した方広寺の大仏殿が、偉容を誇って建っていました。現在の緑地はその中心部分にあたり、2000年に遺構^{いこう}の状態を確認するための部分的な発掘調査が実施されました。調査の結果大仏殿の正確な位置が判明し、その規模も南北約90m東西約55mという、現在の東大寺大仏殿をしのぐ壮大さであったことがあらためて確認されました。発見された遺構は地下に埋め戻して大切に保存し、小舗石や板石などで位置を地表に明示しています。

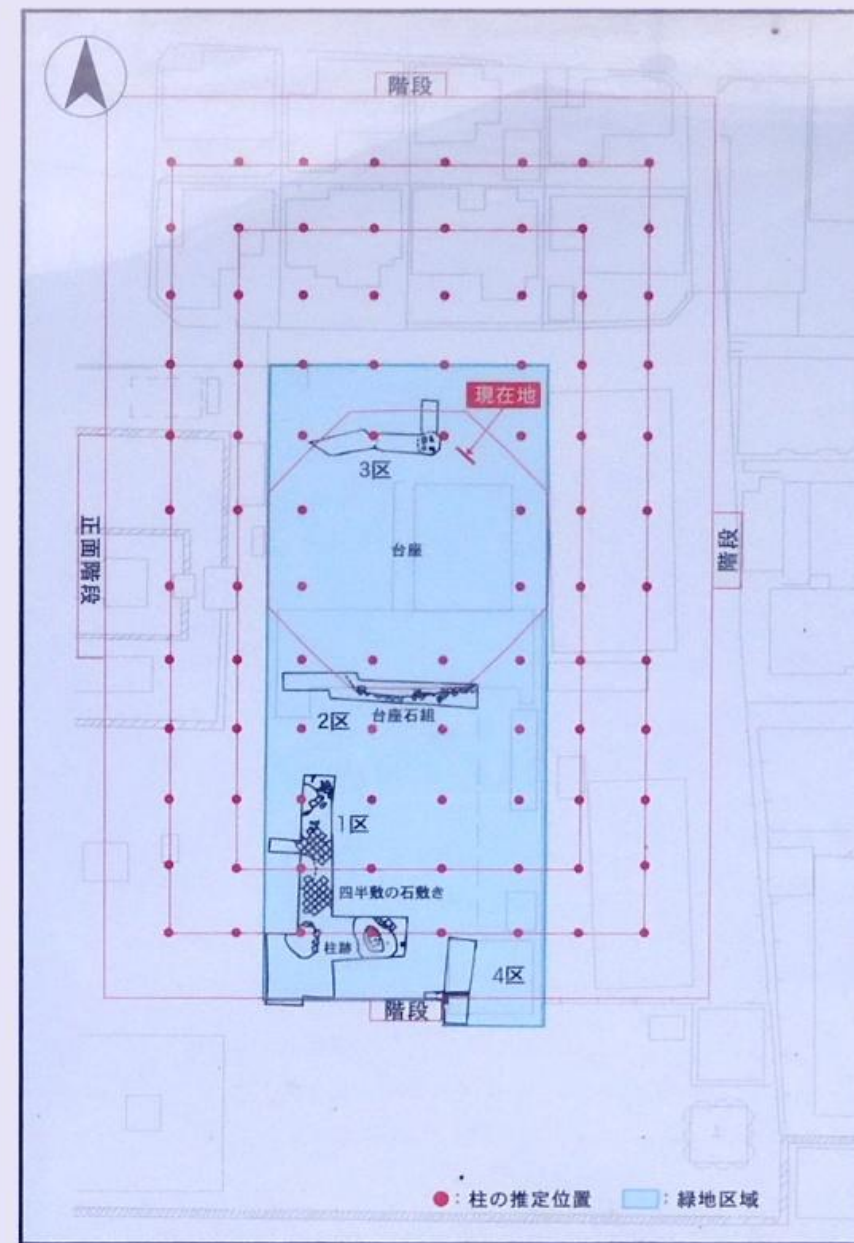


左の写真は2区で見つかった大仏の台座の石組みです。高さ18mもあったという大仏にふさわしく、直径約34mもの大きさの八角形に復元できます。(西より)



左の写真は大仏殿の基壇と南へ張り出す階段のコーナー部分です。大きな花崗岩の切石で作られています。4区で見つかりました。(南より)

右の写真は大仏殿の床に敷かれていた敷石です。建物に対して斜め45度に置く「四半敷き」という方法で敷かれています。寛政10(1798)年に大仏殿が炎上した時の熱で、砕けてしまった石が目立ちます。中央右寄りの敷石のない部分は、大仏殿の柱を支える巨大な礎石が抜き取られた跡で、根固めの小振りな石だけが残っています。1区で見つかりました。(北より)



大仏殿平面復元図

0

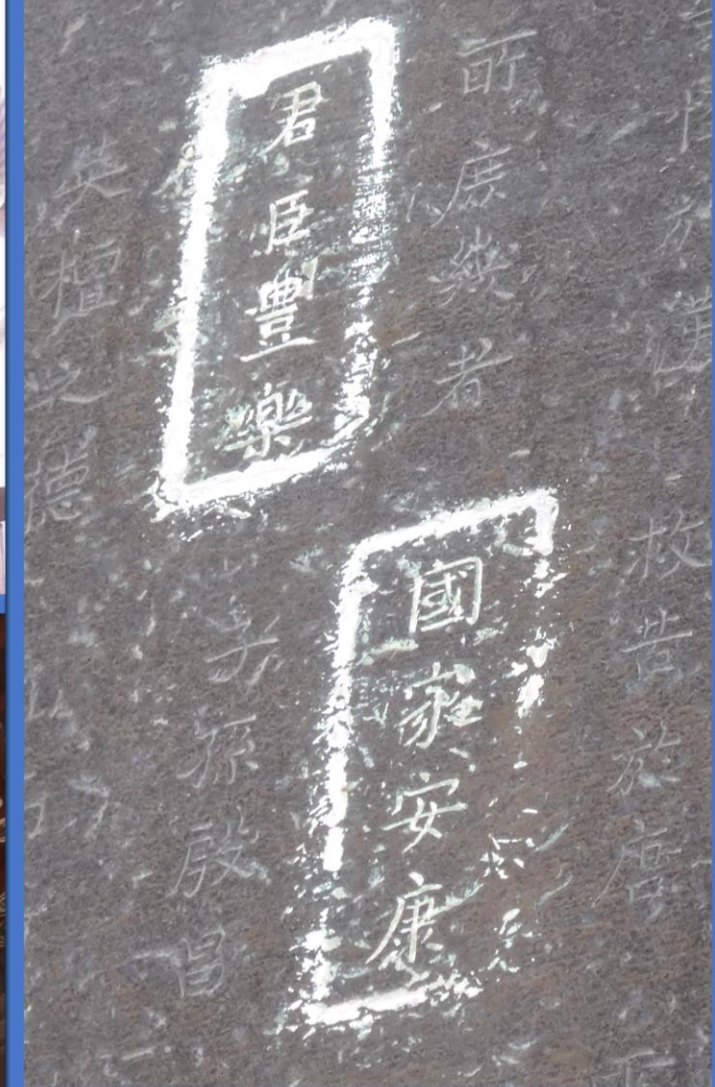
50m



公園の大仏の台座石(現物はこの下にある)

京の大仏の範囲

大仏殿は、屋久島の杉など、
全国の大名からの大木の寄進で、
壮大な木造建築物が造られた。(大仏殿)
また、石垣も同様に巨大で、現在、
豊国神社の石垣として、そのまま
使われている。



巨大な吊り鐘

歴史に残る文字。

しかし、

鑄つぶされなかった

不思議な鐘である。



60回記念
京の冬の旅

京の冬の旅
非公開文化財特別公開

方広寺

Hoko-ji Temple

再入場はできません

公益社団法人 京都市観光協会

2026年1月9日(金)～3月18日(水)
10時～16時30分(16時受付終了)



豊国神社

江戸時代に

家康によって

祭祀禁止された

「豊国大明神」が

明治天皇の勅令で

復活。方広寺の

土地収公により

大仏殿の跡地に

社殿が造られた。

国宝の唐門は

金地院から移設、

旧伏見城の門とも。

石垣が立派なのは、

大仏殿の石垣で

あったため。





京都国立博物館

方広寺の旧境内地に

ルネサンス建築を

手本にしつつ、

水平線や

半円形のアーチ、

丸屋根を取り入れた

フレンチルネサンス

様式で設計。

日本の社寺文化財の

保管施設として

建設された。

（奈良にも）



京都国立博物館

日ごろはこんなに
扉が閉まって
いるので
刑務所の門前のよう

こうなると
出所の風景にも
見える





秀吉の残影

喪われた大仏殿は、
秀吉の残影である。
栄枯盛衰は
歴史のならない…



**昼は洋食で
精進料理に傾斜した
胃袋を補正すべく
昼食は洋食に!!**



豊臣の時代から徳川の時代へ

これまで、秀吉が造営した大仏あたりを歩いたが、
（七条大橋で用事のある上田さんと別れたが）
今度は徳川の時代の象徴、二条城に向かった。

七条駅=(京阪)=三条駅・京阪三条駅=(地下鉄)=二条城前駅



二条城は水豊か
京都の「水のヘソ」と
いわれるのが「神泉苑」。
その北半分をつぶして
作られた二条城
。それ故、城の堀の水は
心配がいらないう。



二条城

は1603年(慶長8年)、江戸幕府初代将軍徳川家康が、天皇の住む京都御所の守護と将軍上洛の際の宿泊所とするため築城したものです。将軍不在時の二条城は、江戸から派遣された武士、二条在番によって守られていました。



東大手門

二条城の見物では
ここが入り口に
なっている。

←二ノ丸御殿

世界遺産二条城

^{けいちょう}慶長8年(1603)に江戸幕府初代将軍徳川家康が築いた城である。
^{かんえい}寛永3年(1626)、3代将軍家光^{いえみつ}の時に後水尾天皇^{ごみずのお}を迎えるため大規模な拡張を行なった。^{けいおう}慶応3年(1867)には15代将軍慶喜^{よしのぶ}が政権を天皇に返上する「大政奉還^{たいせいほうかん}」を決意した歴史的な場所である。明治17年(1884)からは皇室の別邸として利用され、昭和14年(1939)に京都市がゆずり受け現在に至っている。平成6年(1994)にユネスコにより「古都京都の文化財」の一つとして、世界文化遺産に登録されている。

京都市



↑ 東大手門

二条城

時代の変わり目となる
二つの出来事

寛永行幸

行幸とは、

天皇が訪れること。

この時の場所は、
二条城であった。

この行事こそが

江戸幕府の威信を
全国に知らしめた

瞬間でもある。

5日間の滞在とはいえ

城内に御所並みの

建物を作り

天皇のみならず

官人、女官をも

歓待したという。



此色有來御建物

此色御壞・相成御建物
取り壊す建物

此色行幸之時御建物
移築する建物

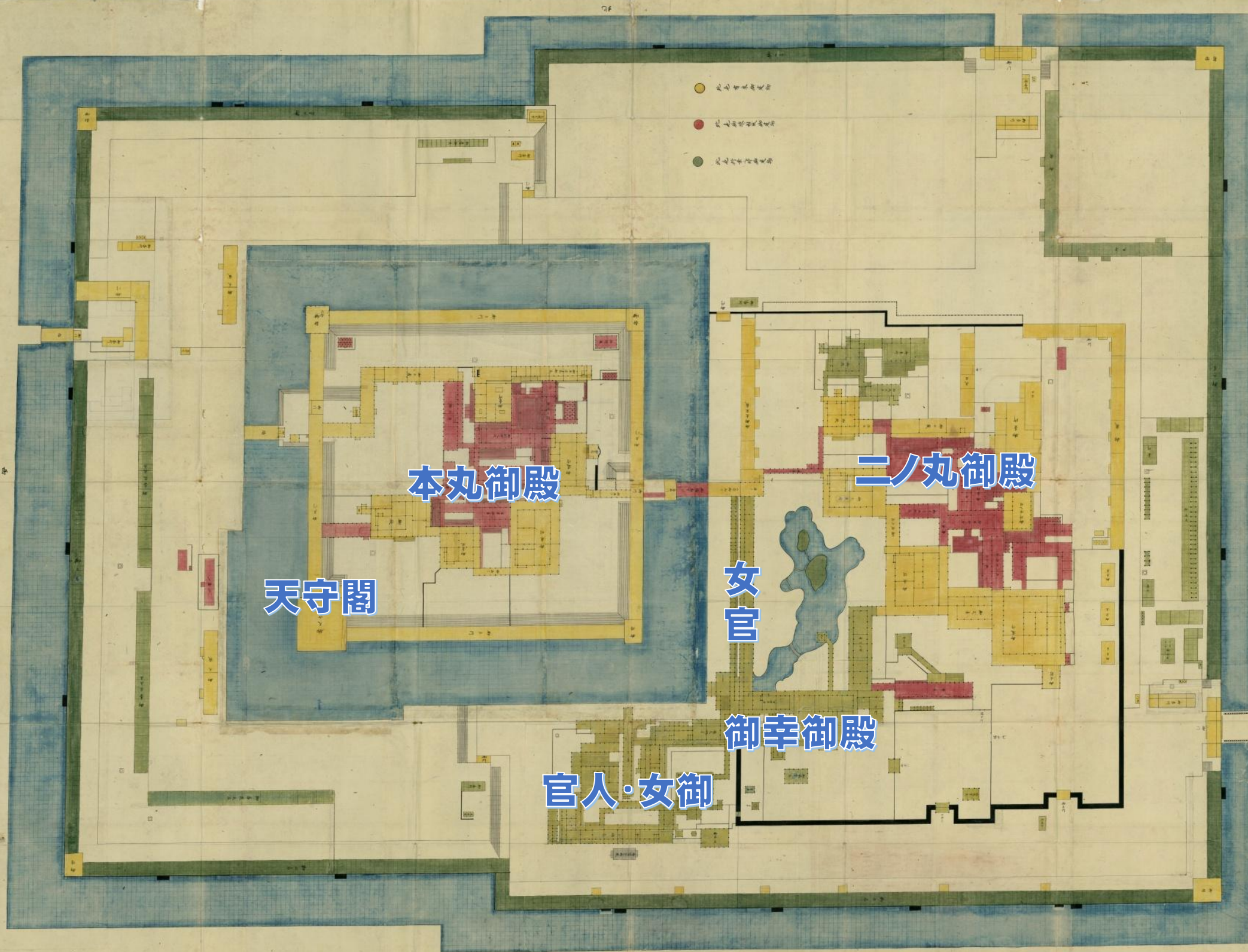
寛永の行幸時の 建築図面

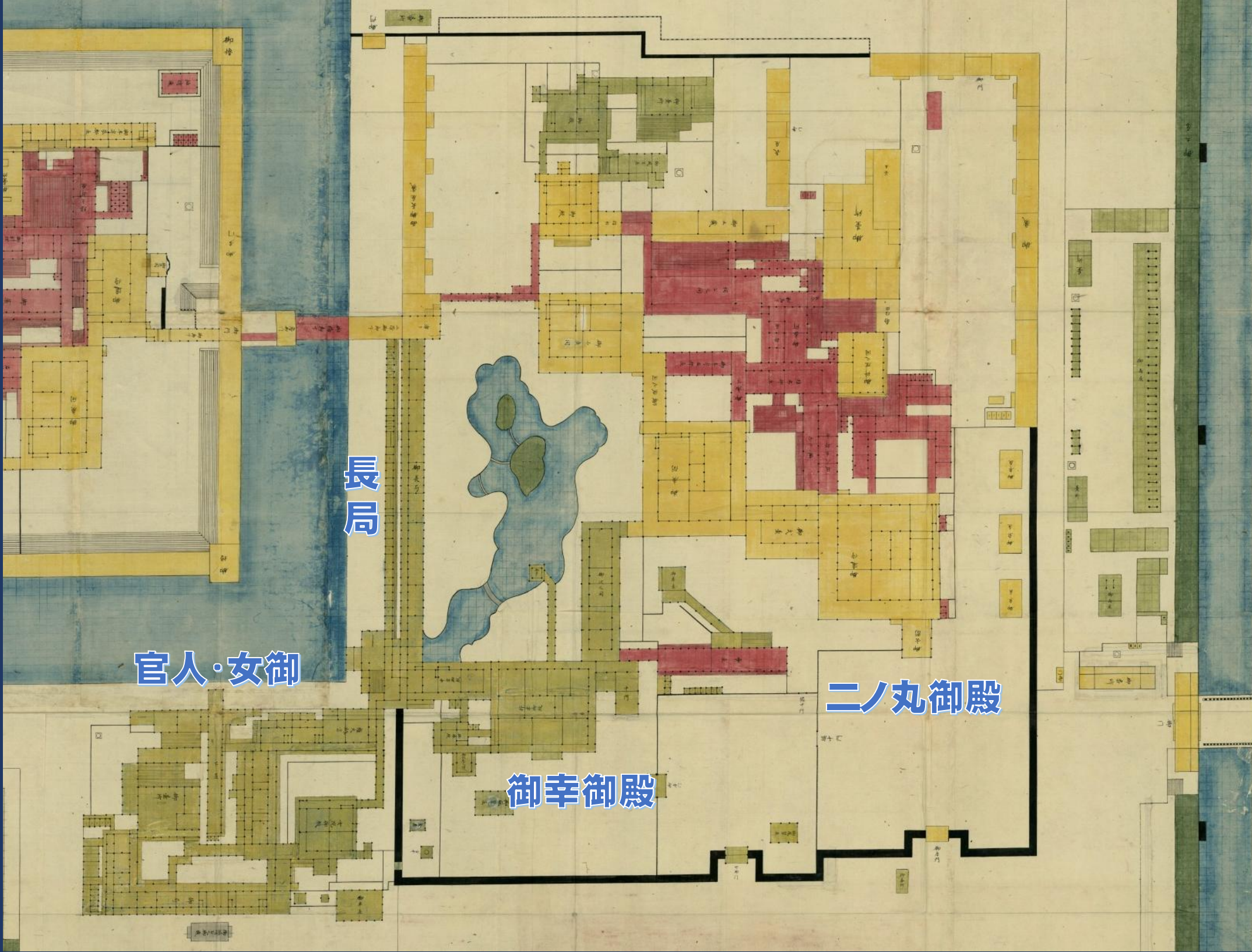
江戸幕府

京都大工頭であった

中井家に伝来の図面

(京都大学図書館所有)





此色有來御建物

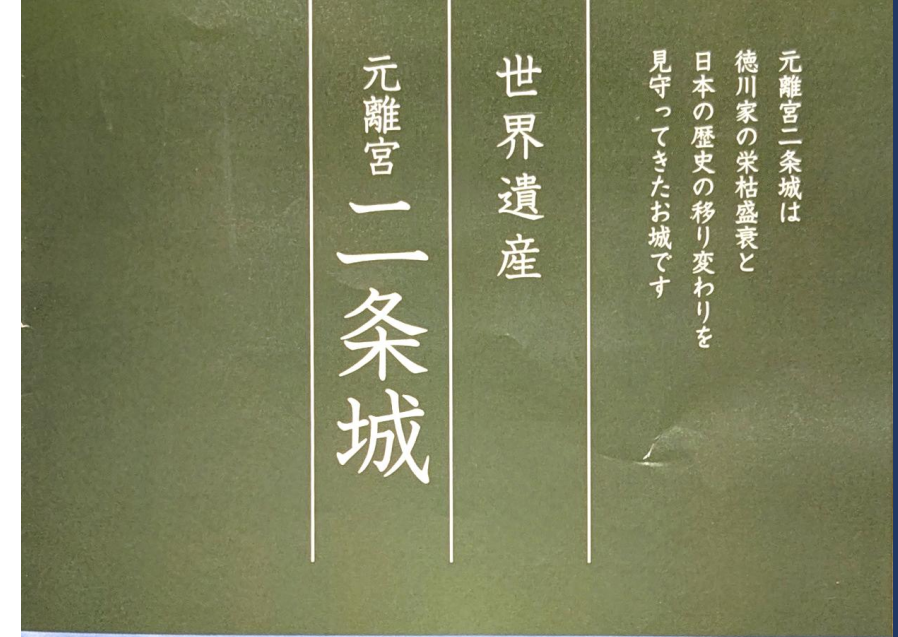
此色御壞・相成御建物
取り壊す建物

此色行幸之時御建物
移築する建物

寛永の行幸時の 建築図面

〈主要部拡大〉

江戸幕府・京都大工頭
中井家に伝来の図面
部屋割り、柱の位置が
わかるなど、素晴らしい
図面である。



元離宮二条城は
徳川家の栄枯盛衰と
日本の歴史の移り変わりを
見守ってきたお城です

世界遺産

元離宮 二条城

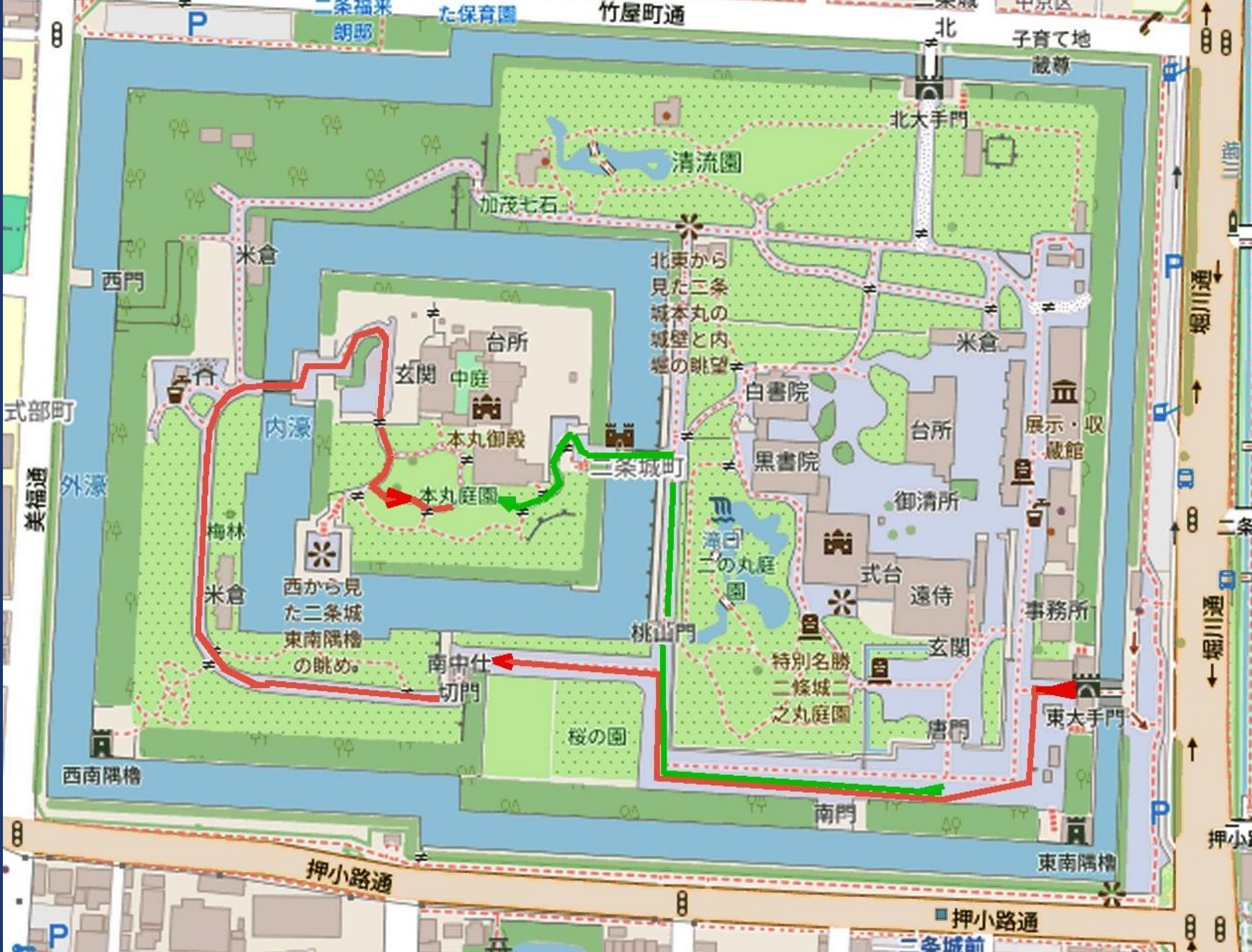


東南隅櫓

唐門

地下鉄

二条城前駅から見える櫓



本丸へ

到着時刻を揃えるべく

「健脚組」：西から

「一般組」：東から

攻め入ることに



玄関

雁の間・
台所

御書院

御常御殿

この写真は、二条城のHPより



本丸御殿

明治26～27年

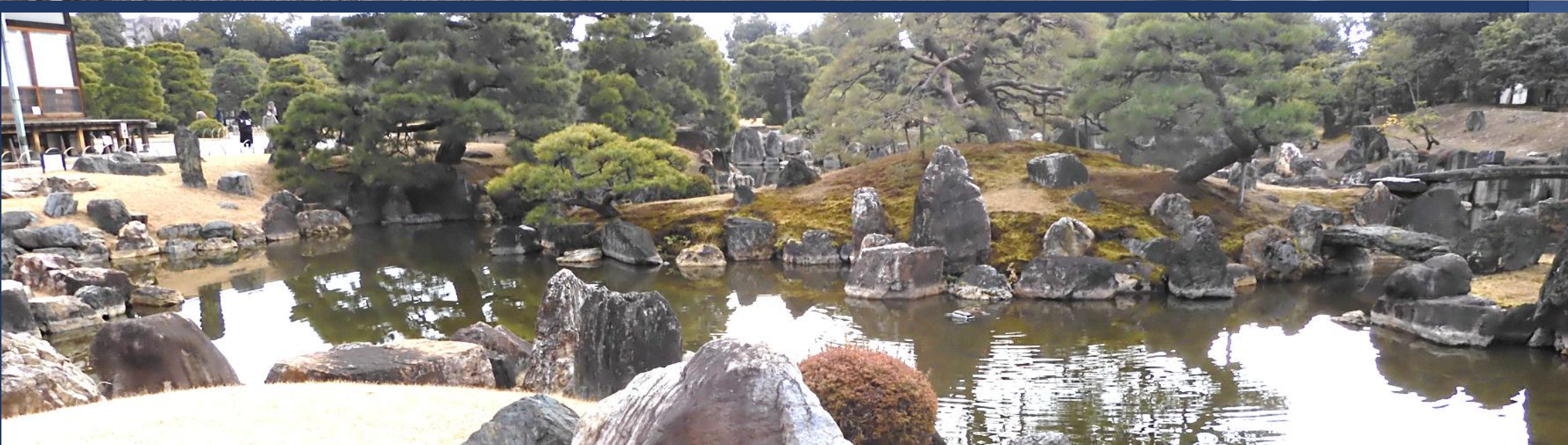
御所の北にあった
桂宮御殿の一部を
本丸に移築し

本丸御殿とした。



二ノ丸庭園

立派な庭園なのに
二ノ丸御殿へ
急いだことが
悔やまれる



二ノ丸庭園

さすがに見事な
石ぐみ。

この中を
歩けないのが
やや残念。



二ノ丸庭園

最奥に滝があるが、
その水は
どこから

来たりしものか。
動力のない時代の
工夫に興味あり

元離宮 二条城

世界遺産

World Heritage Site
Former Imperial Villa
NIJO-JO
CASTLE



◆ 入城券
Admission Ticket

◆ 三の丸御殿観覧券
Ninomaru-goten Palace
Admission Ticket

入城/二の丸 一般

¥1,300

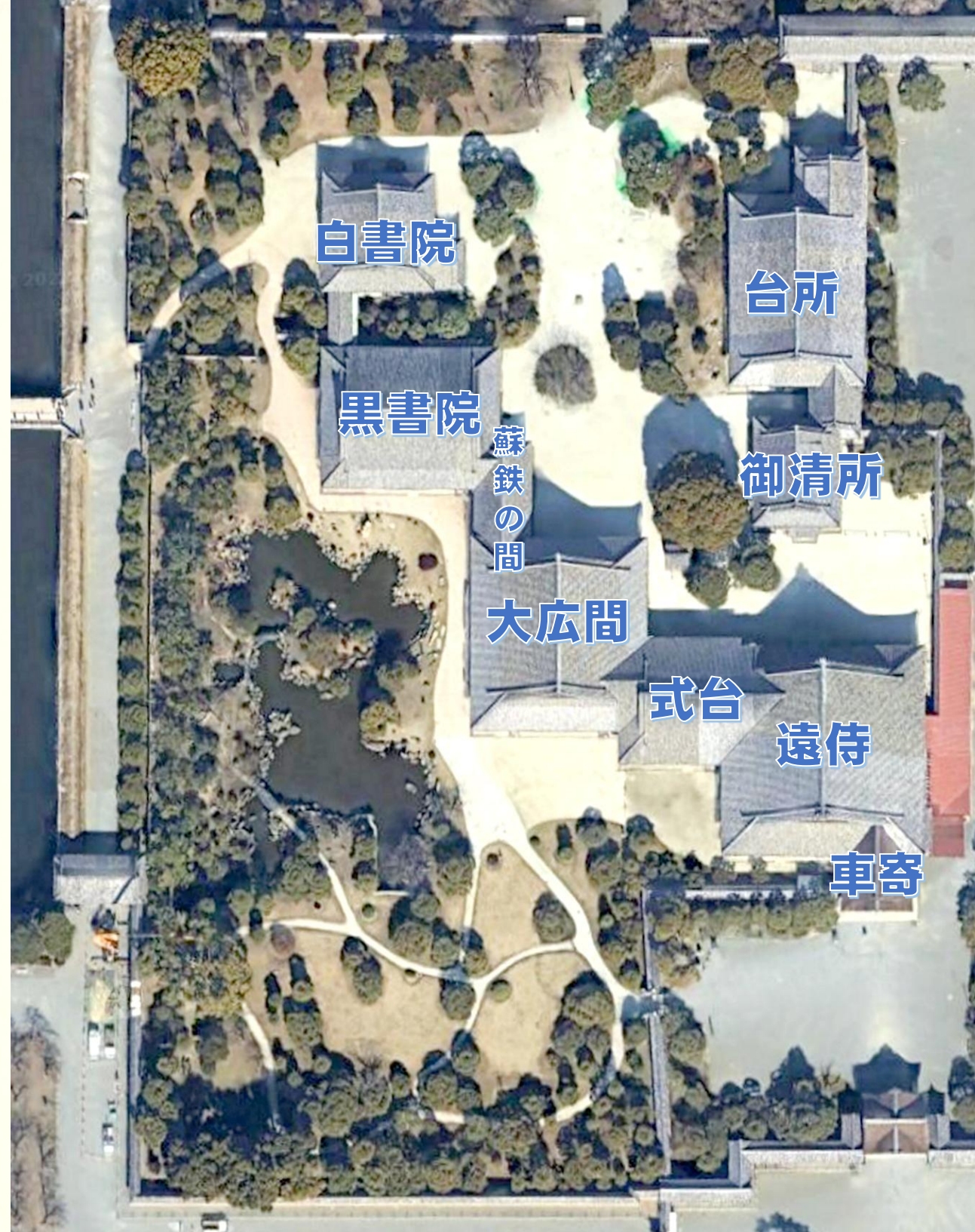
有効期限 2026.2.12

2026.2.12発行 07406181



【注意事項】

- ・二の丸御殿、本丸御殿及び展示収蔵館の観覧には、それぞれの観覧券が必要です。
- ・本丸御殿の観覧は、別途、事前予約が必要です。
- ・本券の払戻し、換金、転売及び再発行はできません。
- ・1回限り有効。再入場はできません。
- ・本券は退城時までお持ちください。
- ・Admission tickets cannot be refunded.
- ・Reentry is not permitted.
- ・Please keep the ticket while staying at Nijo-jo Castle.



白書院

台所

黒書院

蘇鉄の間

御清所

大広間

式台

遠侍

車寄

二ノ丸御殿の拝観

国宝 二の丸御殿



① 遠侍 一の間・二の間・三の間

遠侍は来殿者が控える場所で、二の丸御殿最大の建物です。来殿者が最初に立ち入るこれらの部屋は、襖や壁の絵から「虎の間」とも呼ばれています。獰猛な虎の絵や壮大な空間は徳川家の権力の大きさを実感させたと思われます。



遠侍 三の間 竹林群虎図



式台 老中の間



② 式台 式台の間

式台は、将軍への用件や献上物を取次ぐ場所とされています。表の「式台の間」と裏の「老中の間」からなります。式台の間は、老中と大名が挨拶をし、将軍への取次ぎが行われたとされる部屋です。障壁画には、永遠に続く繁栄を表すおめでたい植物として松が描かれています。



式台の間

⑧ 式台 老中の間

3部屋からなり、老中が控えていた部屋です。一の間と二の間は「芦雁図」で、三の間は「柳鶯図」です。長押上は白壁のままで質素な造りです。

式台の間

⑨ 遠侍 勅使の間

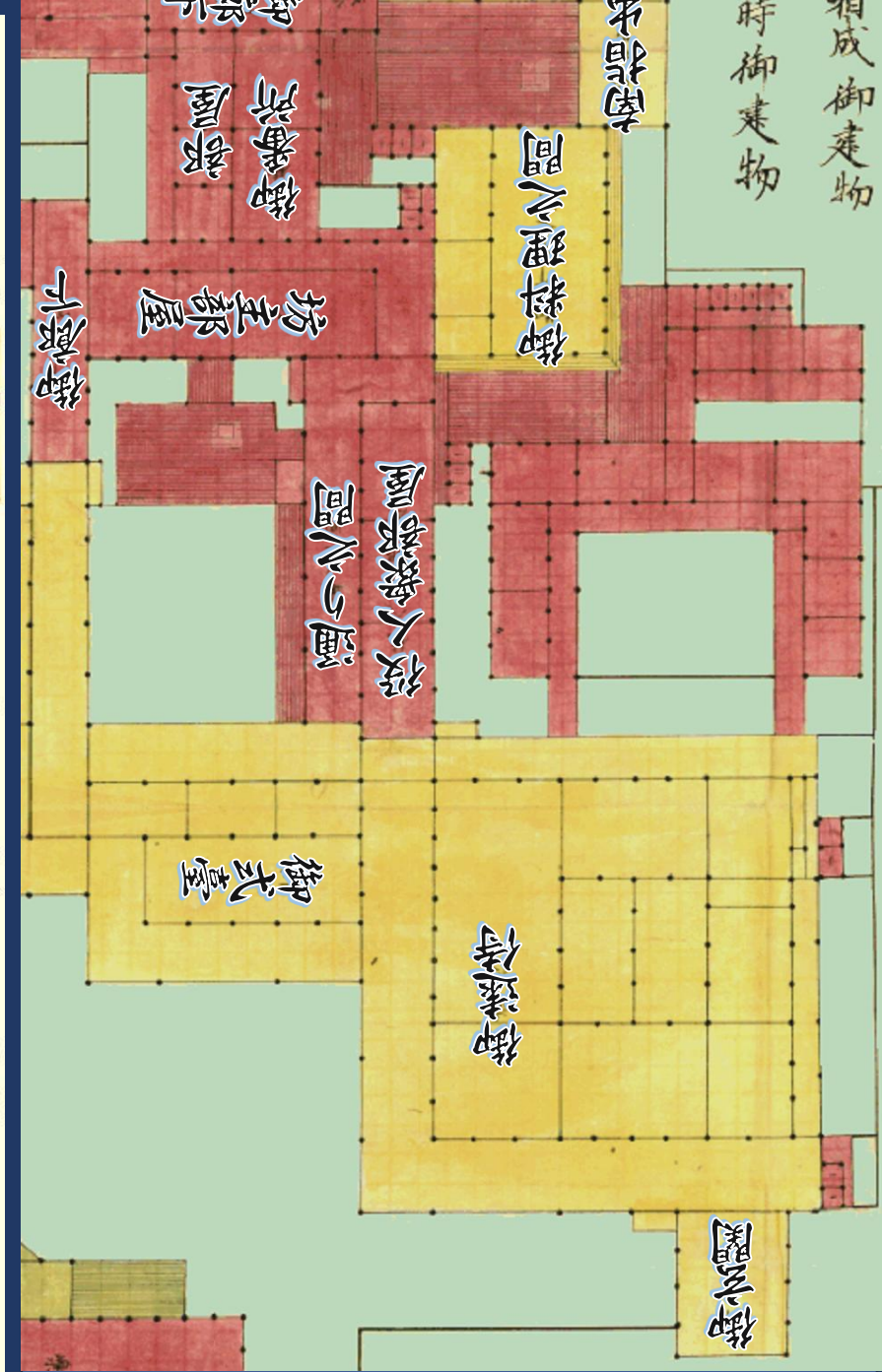
遠侍の部屋の一つで、朝廷からの使者(勅使)を迎えた対面所とされています。障壁画には、優美な椿や青楓などが描かれています。

⑩ 遠侍 柳の間

障壁画は、「勅使の間」や隣接する「若松の間」や「芙蓉の間」と同様に植物を題材としており、公家向けの趣を持っています。



遠侍 勅使の間



寛政の行幸時の建築図
(柱の位置、部屋がわかる)

二の丸御殿

③ 大広間 三の間

厚さ35センチの檜の板を両面から透かし彫りした欄間の彫刻や、大広間や黒書院の柱に取り付く花熨斗形(はなのしがた)の長押金具は大変豪華で見ごたえがあります。

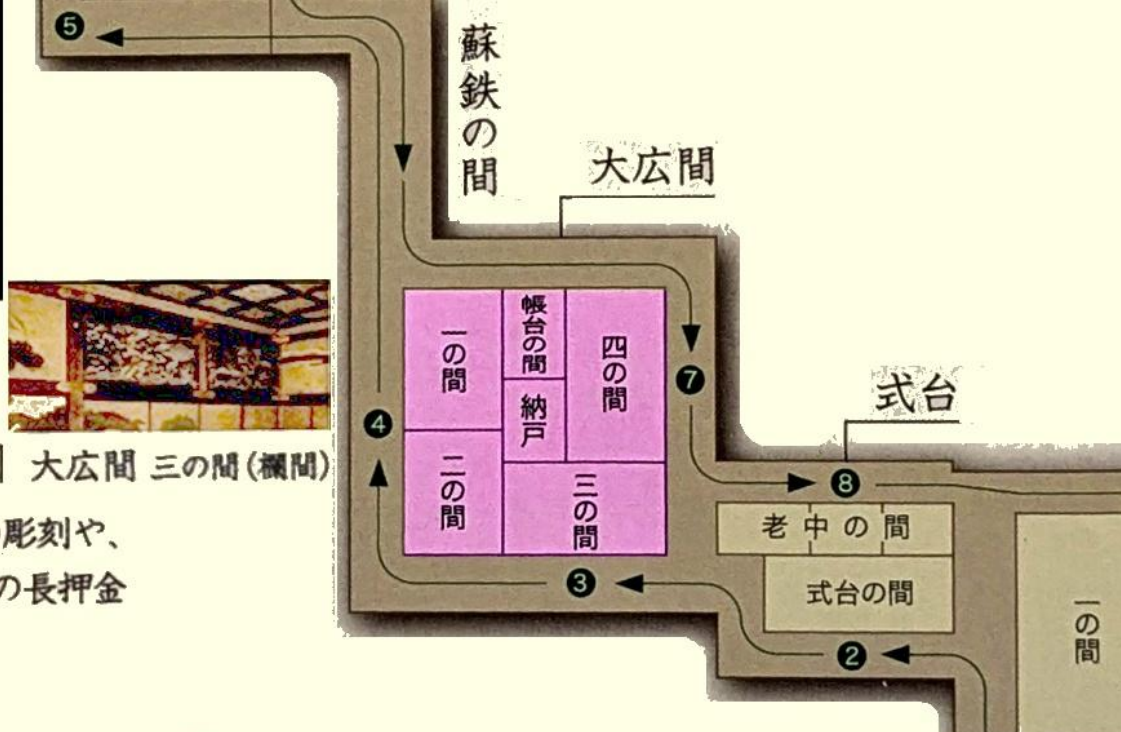


大広間：
二の間から一の間を見る



大広間：
四の間

三の間 | 大広間 三の間 (欄間)

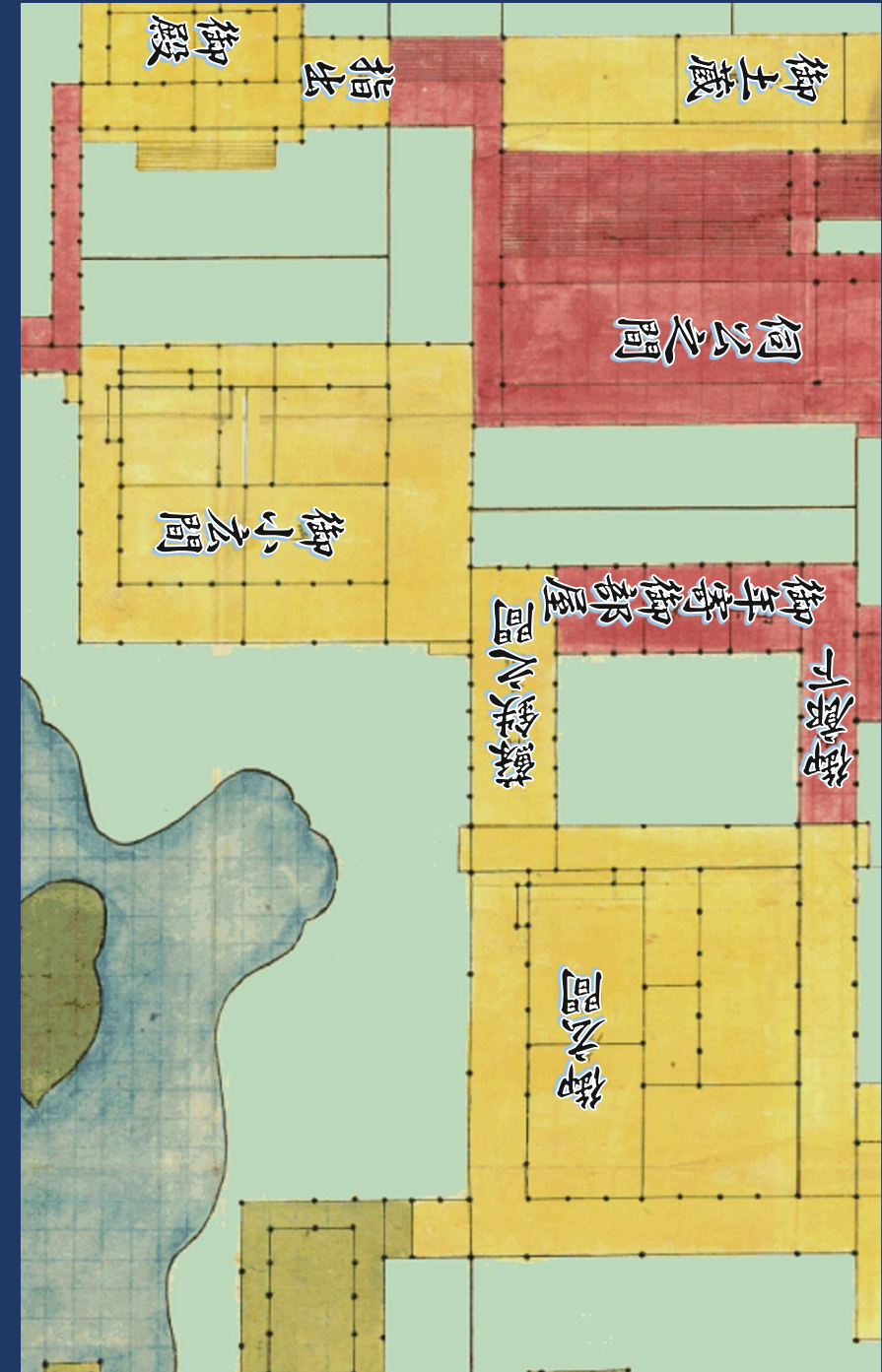


④ 大広間 一の間・二の間

将軍と大名や公卿衆との公式の対面所です。大広間の主室であり、一の間(上段の間)、二の間(下段の間)からなります。一の間は、書院造りの特徴である床の間、違棚、付書院、帳台構を備えています。対面の際には、将軍は一の間で南を向いて座し、床の間に三幅対の掛軸をかけ、違棚や付書院には工芸品などを飾ったとされています。障壁画は狩野探幽筆です。

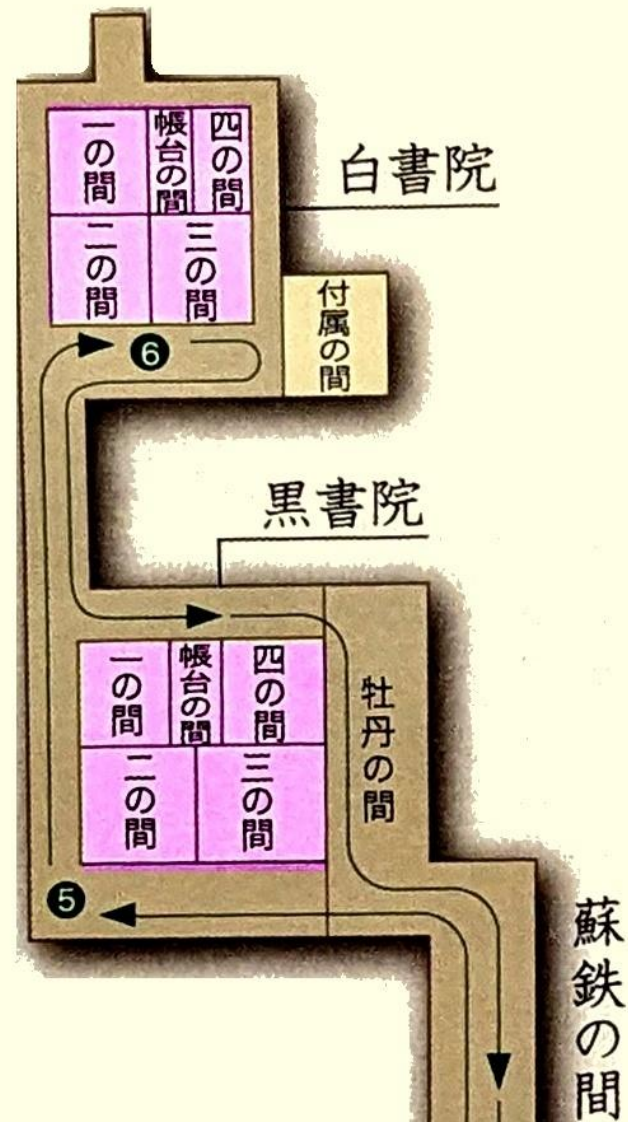
⑦ 大広間 四の間

将軍の上洛のときに武器をおさめた場所といわれています。障壁画の「松鷹図」は、二の丸御殿の中でも最も有名なもので、桃山時代の様式を取り入れた巨大な松と勇壮な鷹が描かれています。



寛政の行幸時の建築図
(柱の位置、部屋がわかる)

国宝 二の丸御殿



⑤ 黒書院

江戸時代の名称は「小広間」で、大広間に次ぐ公式の場です。将軍と徳川家に近い大名や高位の公家などが対面しました。一の間と二の間は、満開の桜が目を惹くことから「桜の間」と呼ばれ、将軍が背にする、かすかに雪をのせた松の枝に加え、梅の花や散りゆく桜を交えることで、季節の流れを感じさせます。襖絵は探幽の弟・尚信筆です。



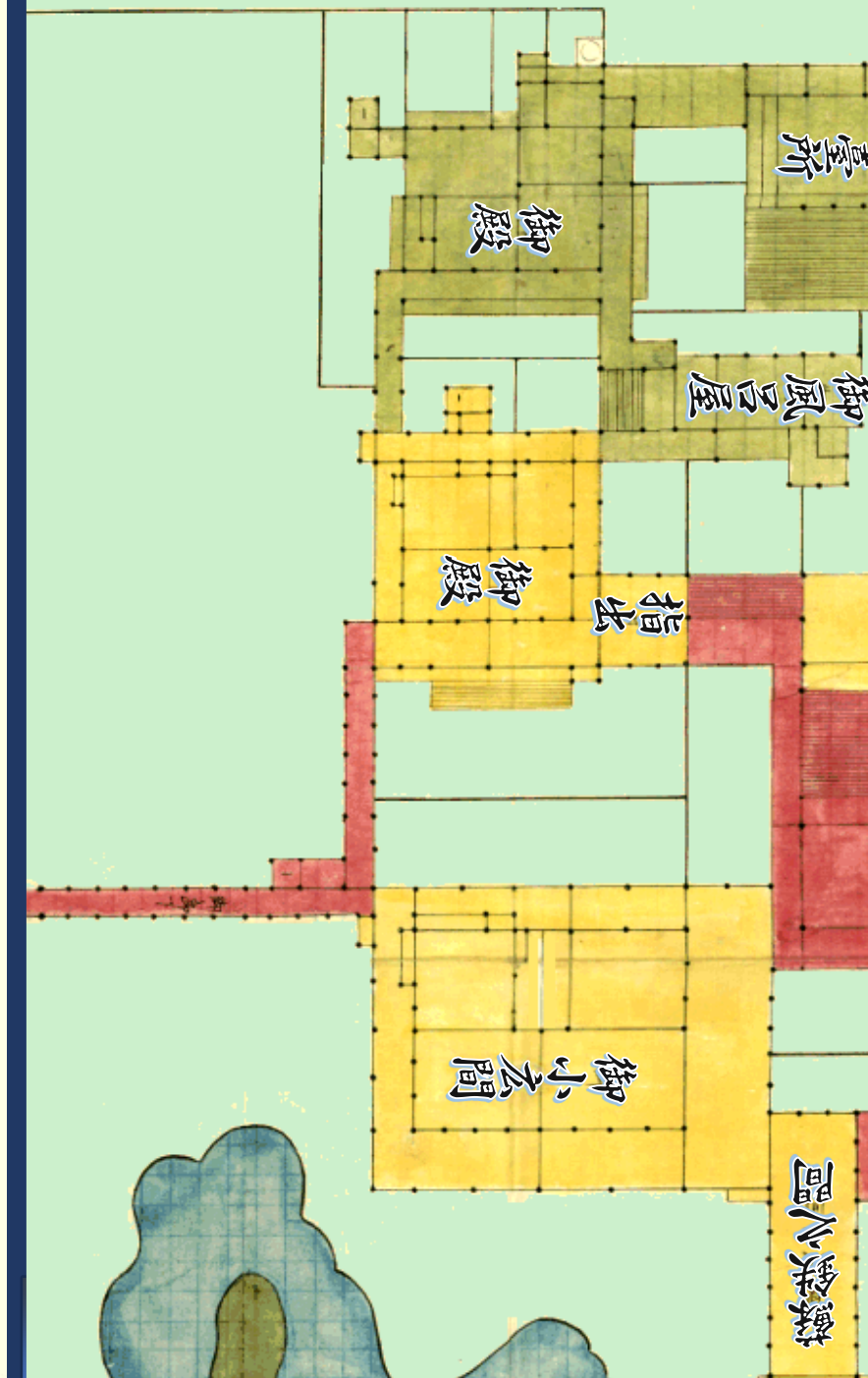
黒書院 二の間から一の間を見る



黒書院 牡丹の間

⑥ 白書院

江戸時代には「御座の間」と呼ばれることから、将軍の居間と寝室であったと考えられています。水墨画に包まれる空間は他の棟と趣が異なり、落ち着いた印象をあたえます。中国由来の題材が選ばれ、一の間と二の間は名勝・西湖が、三の間には伝説や歴史上の人物が描かれています。



寛政の行幸時の建築図
(柱の位置、部屋がわかる)



二の丸御殿の障壁画

二の丸御殿には、寛永期の障壁画を含む約3600面の障壁画が残されています。1982年(昭和57年)には、そのうち1016面が国の重要文化財に指定されました。寛永期の障壁画は、1626年(寛永3年)の後水尾天皇の行幸のために大改築された際、幕府御用絵師であった狩野派の若き棟梁・狩野探幽が一門の総力を挙げて制作したものです。



本丸櫓門の前
二ノ丸御殿も庭園も
堪能しました。

急ぎ足だったけど
結構疲れたよ。



↑ 本丸櫓門

和楽庵で休憩

元気な人は
本丸御殿を
見学した後で
和楽庵に
来てもらいました。



左に白書院・黒書院の
屋根が見える

鳴子門

鳴子門の向こうに
桃山門がある。



和楽庵で一息

ここは清流園の一部。
数寄屋風の建物で
庭を眺めながら
喫茶できる場所



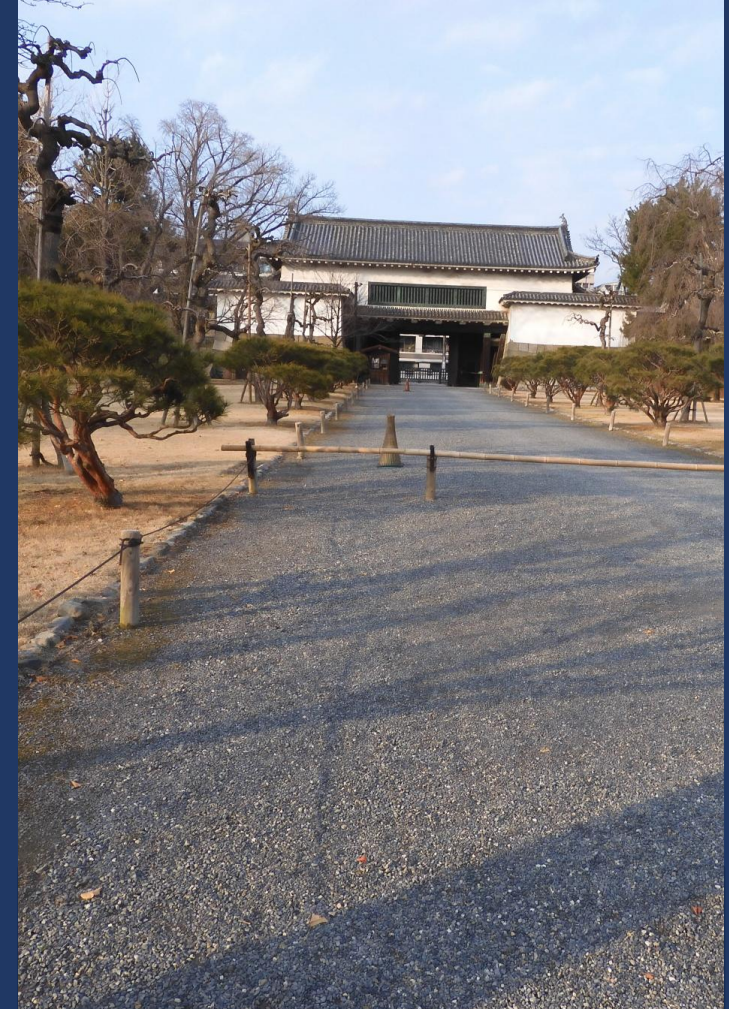
和楽庵

角倉家の建物の一部を
移築したらしいけど
儲け主義の商売に
印象悪し!!



香雲亭

清流園作庭時に
角倉家から移築。
一帯は、江戸時代
二条在番の番士の
住居があった場所
と思われる。



北大手門

二条城のもう一つの
大手門。

京都所司代の
方向にある。



台所・米蔵

生活の場として

城に必要な

「米蔵」や「台所」が

残っているのも

二条城のすごさであろう

世界
遺産

元離宮 二条城

World Heritage Site
Former Imperial Villa
NIJO-JO CASTLE

展示収蔵館観覧券

Gallery Admission Ticket

¥100

有効期限 2026.-2.12

2026.-2.12 発行

00023289



【注意事項】

- ・二の丸御殿、本丸御殿及び展示収蔵館の観覧には、それぞれの観覧券が必要です。
- ・本丸御殿の観覧は、別途、事前予約が必要です。
- ・本券の払戻し、換金、転売及び再発行はできません。
- ・1回限り有効。再入場はできません。
- ・本券は退城時までお持ちください。
- ・Admission tickets cannot be refunded.
- ・Reentry is not permitted.
- ・Please keep the ticket while staying at Nijo-jo Castle.

展示収蔵館

二条城の障壁画は

ここで管理。

順繰りで

展示公開している。

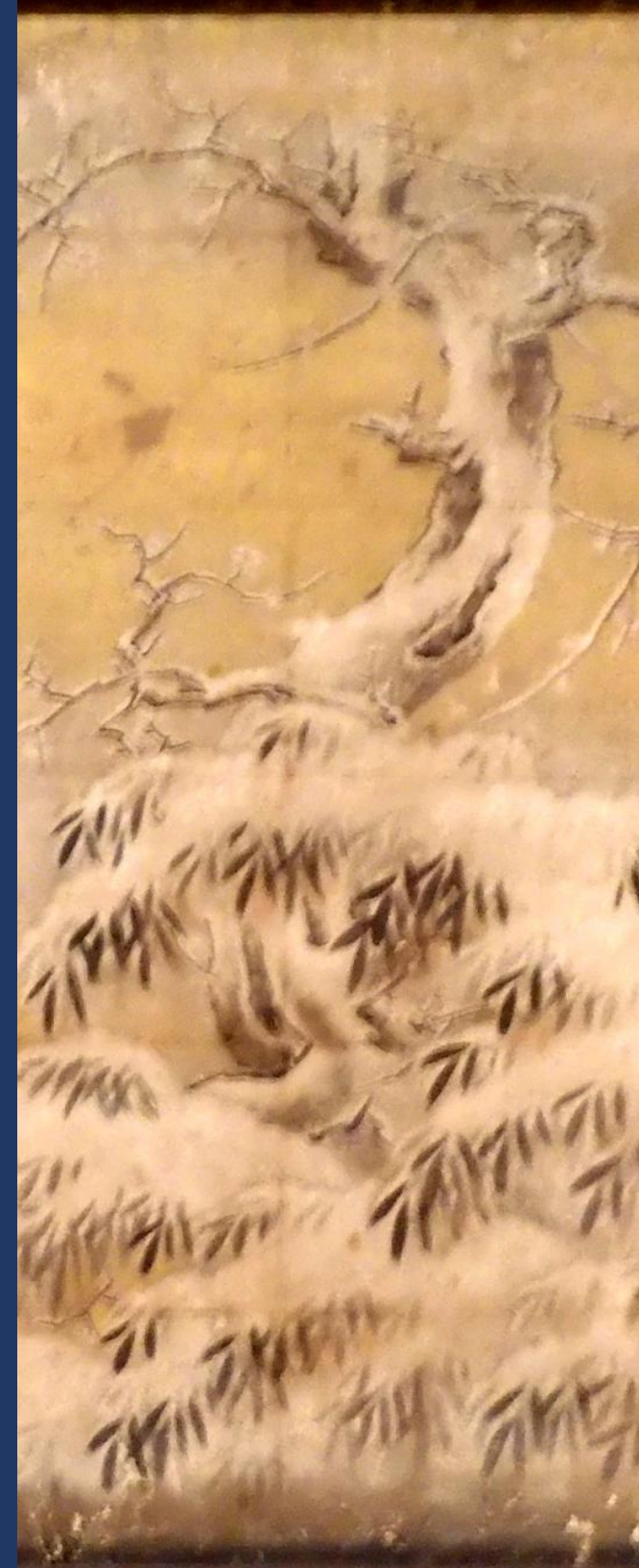
今回は、白書院の

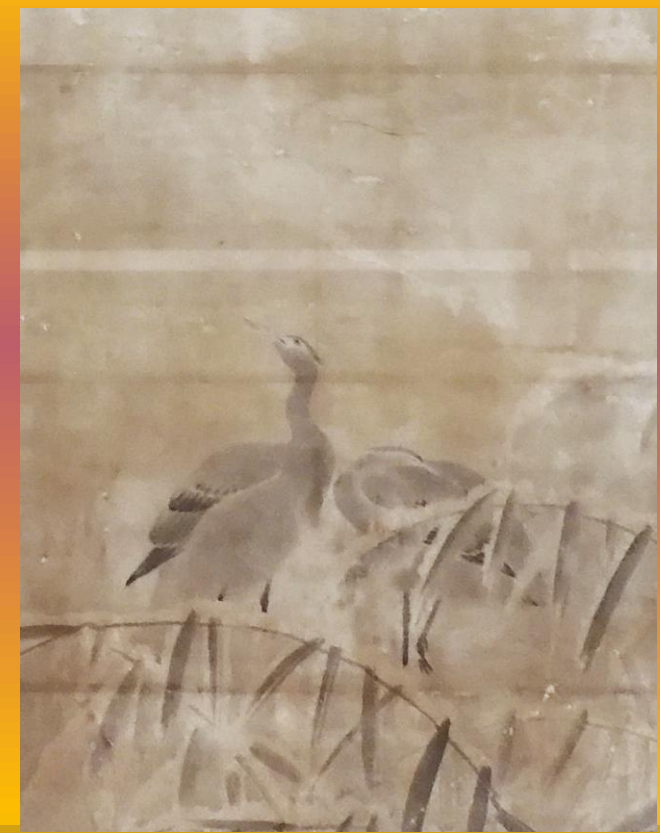
「四の間」および

「帳台の間」の

障壁画が

展示してあった。





展示収蔵館

嬉しいことに

ここでは撮影OK。
しかし、今回は
ぼやっとした
絵が多くて、
うまく撮れません。



大休憩所

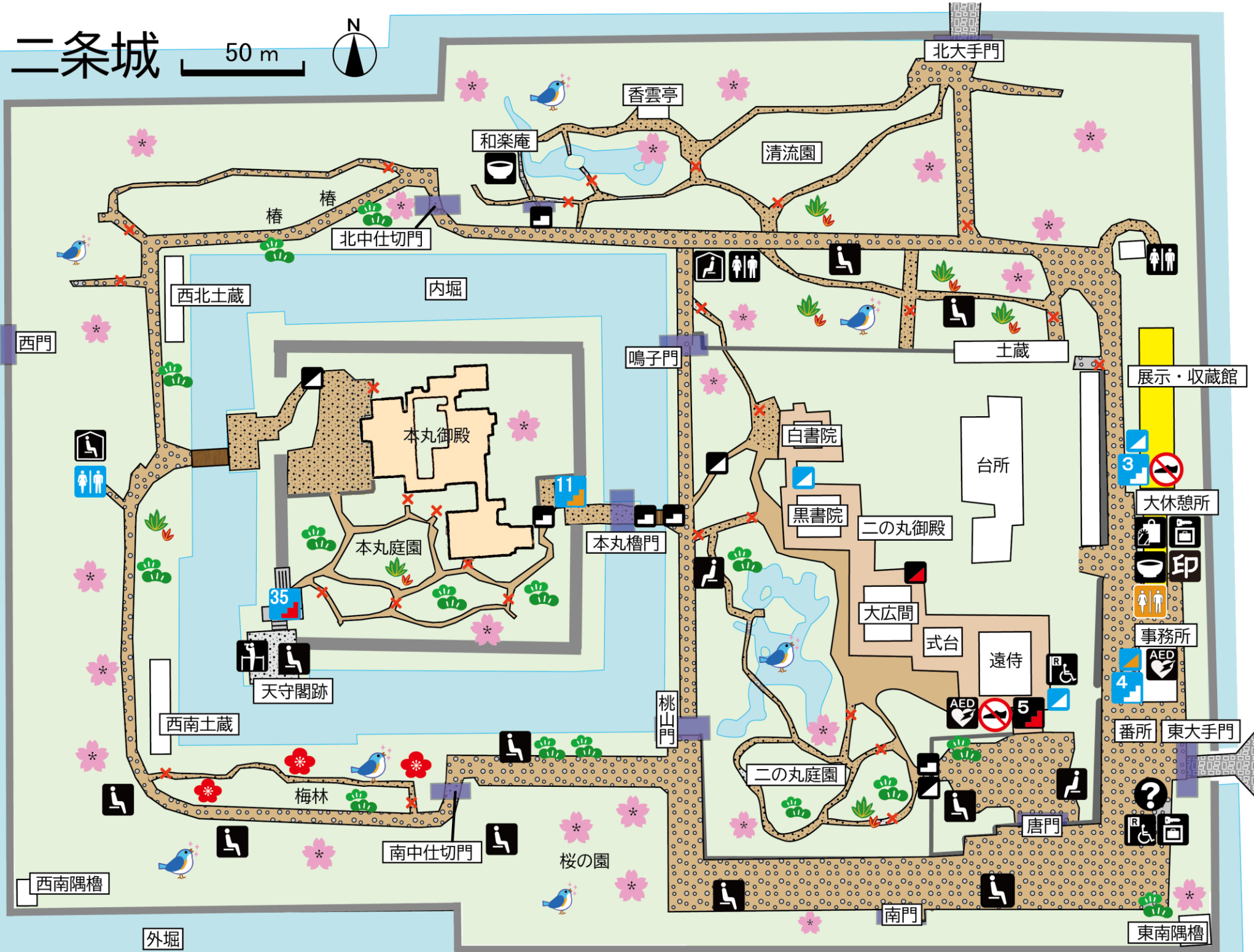
トイレや土産もある

修学旅行など

団体旅行のための
施設なのかな？

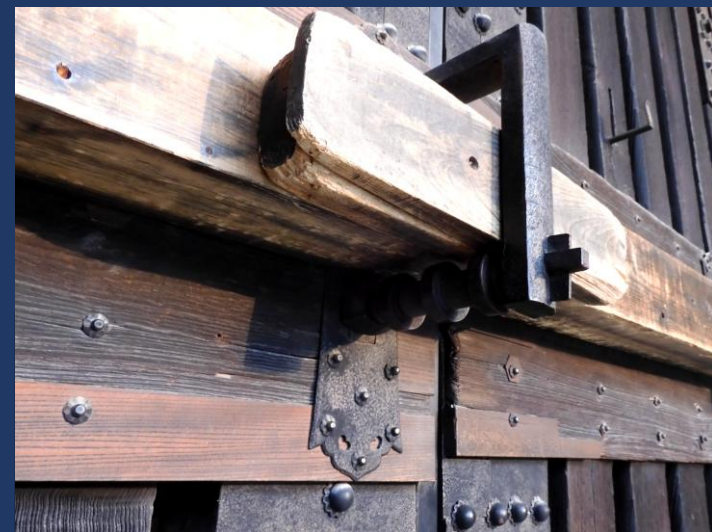
二条城

50 m



二条城絵図

今回の
おさらいにどうぞ。
結構あちこち見たので
一般客以上には
回れたと思います。



閉門時刻

左側の長い建物が
江戸時代からある
「東御門番所」です



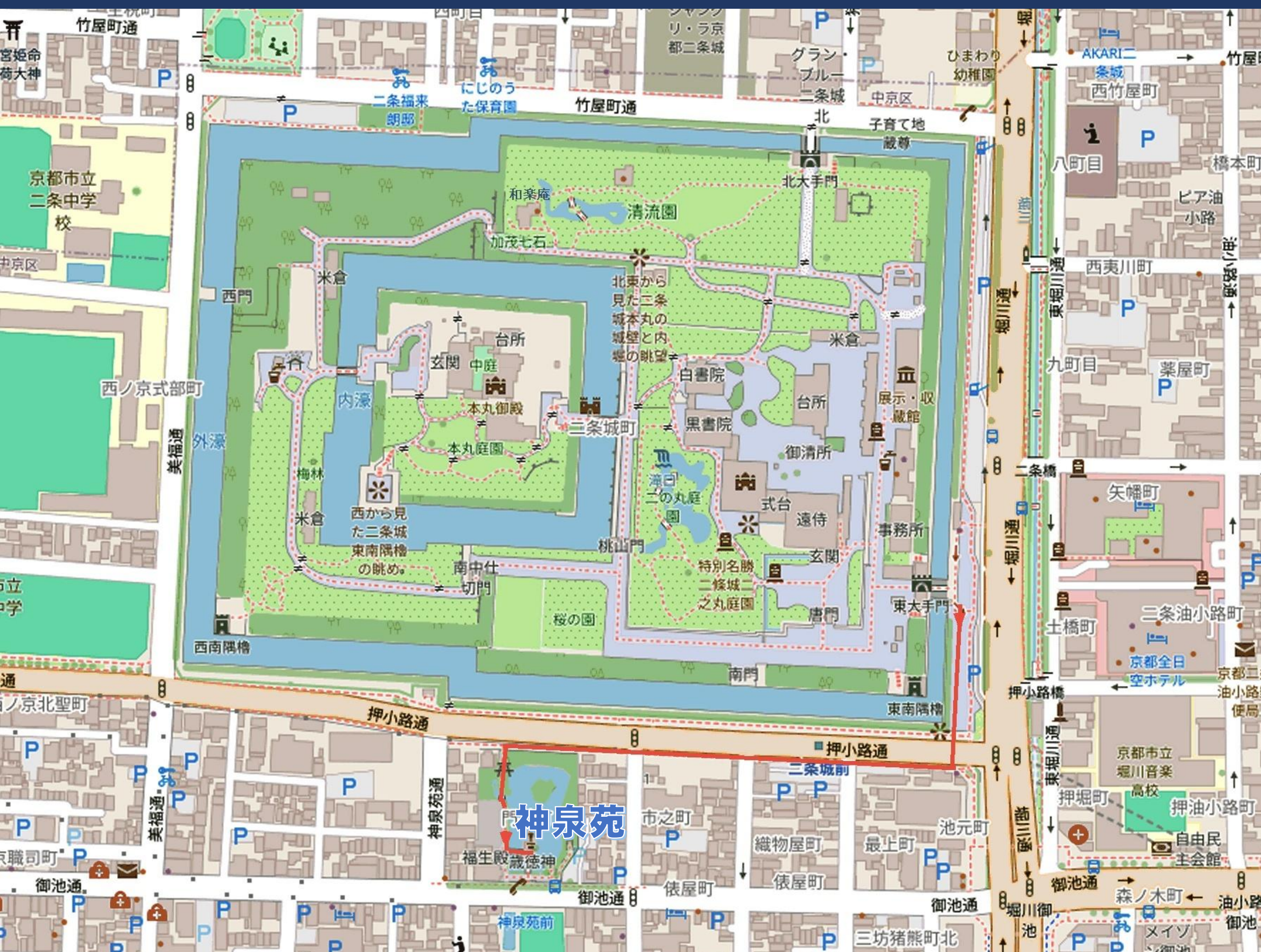
東大手門閉門

門は閉まっていたましたが
左の小さな扉が
開いていました。



二条城脱出

京都の水の中心地、
水の「へそ」である
神泉苑に向かいました



神泉苑
二条城から500mも
離れていなのに
時間がかかりました。

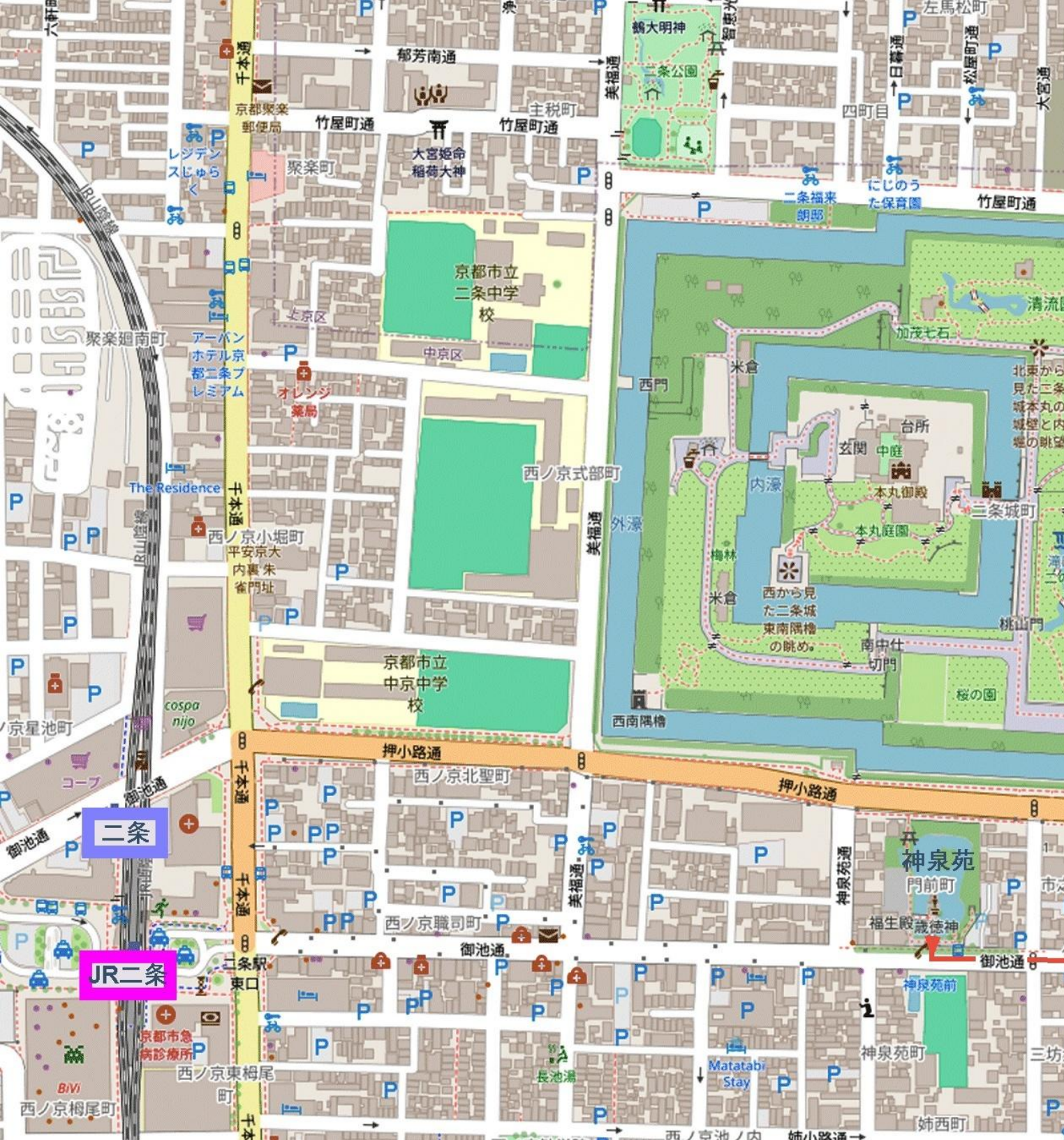






神泉苑

川から離れた場所、
この水を見ると、
京都の地下水の
豊かさがわかる。



二条城前の別れ

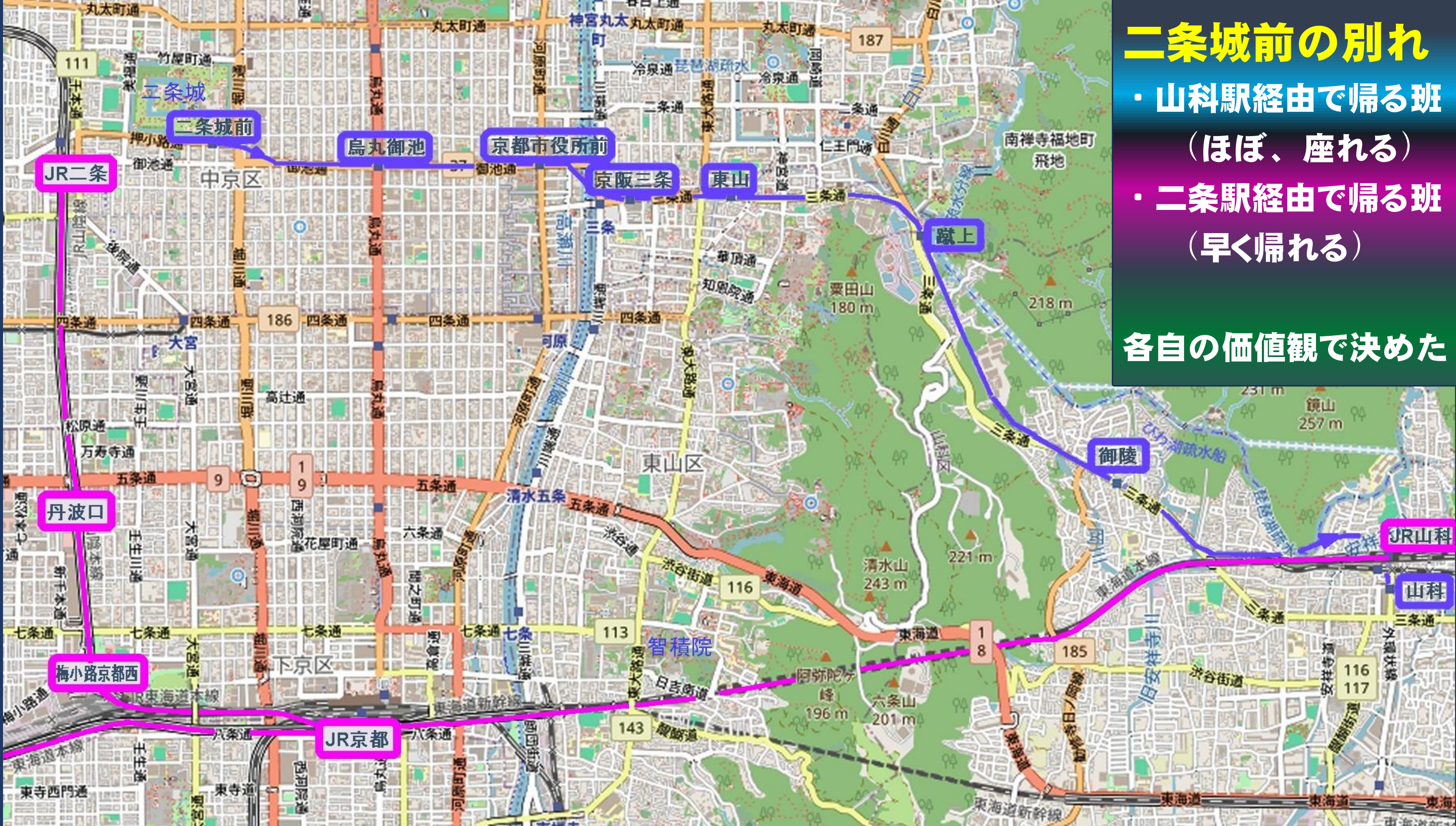
ここで、

- ・ 山科駅経由で帰る班
 - ・ 二条駅経由で帰る班
- と別れた。

二条城前の別れ

- ・ 山科駅経由で帰る班
（ほぼ、座れる）
- ・ 二条駅経由で帰る班
（早く帰れる）

各自の価値観で決めた





山科班のその後

- ・ 山科駅近くの店で
トンカツで夕食。
山科駅からの
新快速に
座ることができた。

第25回 京都の素敵な宿泊旅

2026 2/11~12

京湯元 ハトヤ 瑞鳳閣



第25回 京都の素敵な宿泊旅

2026 2/11~12

おしまい